

村上 正志 (むらかみ・まさし)

昭和 25 年生まれ。山口県出身。京都府立医科大学卒業。同大学にて消化器内科専攻。昭和 57 年村上内科医院開設。同 63 年医学博士号取得。平成 17 年抗加齢医学会の専門医になり、アンチエイジング医学を加えた医療を開始。同 19 年からビタミン C 点滴療法を開始。医学博士。

所属・活動

京都府立医科大学客員講師。日本医師会認定産業医。日本統合医療学会認定医。日本抗加齢医学会専門医（アンチエイジング）。日本消化管学会認定医。点滴療法研究会、アソシエイトフェロー会員（高濃度ビタミン C 点滴療法認定医、キレーション療法認定医）。日本ハイパーサーミア学会会員。日本癌治療学会会員。

Information

医療法人社団 貴正会 村上内科医院

所在地 〒607-8041 京都市山科区四ノ宮垣ノ内町 1
TEL 075-591-4722 FAX 075-583-2032
URL <http://www.murakaminaiika.com>

- アクセス**
- JR 山科駅より徒歩で 10 分
 - 名神高速京都東インターより車で 5 分
 - 地下鉄東西線（浜大津行）四宮駅徒歩 3 分



診療科目 内科、小児科、胃腸科、リハビリ科

診療時間		日	月	火	水	木	金	土
昼	14:00 - 16:00	/	○	○	○	○	/	○
夜	18:00 - 20:00	○	○	/	○	/	○	/

(受付は、昼、夜とも診療開始 30 分前から)

理念

1. 真心をこめて治療します。
2. 安全・安心で副作用のない治療をめざします。

村上院長は心のケアをがん治療の重要なポイントの一つに位置付ける。

「とにかく何かストレスの発散に繋がるようなことをすることが大切です。例えば気功やヨガ、ホメオパシー、祈り、催眠療法やアロマ、フラワーエッセンスなどが挙げられます」

そして最も身近で誰にでも出来る、かつ一番最良の方法が「笑う」ことだという。

「笑うことでエンドルフィンという幸せホルモンが分泌されます。これだけでも免疫力は大幅に高まります」

村上院長の医院を訪れるがん患者は年齢層が幅広く、がんが相当進行してしまった重症の患者が多いという。

「どんな状態のがん患者さんであれ、治療はもう無理ですということは絶対にありません。ネガティブな気持ちで来られる方も多いですが、何とかなるんだ」ということをまずはお話し、安心して笑顔になっていただきます」

この「何とかなるんだ」という村上院長の言葉は、自らが幾度となくステージ 4 といわれる末期がんの患者と闘ってきた経験が言わせる、いわば心の底からの魂の呼びかけだ。

「標準治療で治らなかつたからといって諦める必要はありません。個々の患者さんにあった治療力と体内の抗酸化力を最大限に発揮すればがんは必ず克服できるのです」と、明日に希望をつないできつぱりと言いつける。